

### 金融イノベーター

従来の金融業のあり方に変革を与え、インターネットの持つ爆発的な価格破壊力を利用し、より顧客の便益を高める金融サービスを開発する。

### 新産業クリエイター

IT分野を軸とした21世紀の中核的産業の創造及び育成を担うリーディング・カンパニーとなる。

### セルフエボリューション

経済環境の変化に柔軟に適應する組織を形成し、「創意工夫」と「自己変革」をDNAとして組み込んだ、自己進化していく企業であり続ける。

### 社会的責任

社会的・経済的な側面からステークホルダーをはじめとした社会全体に対して、責務を果たす企業となる。

## トップメッセージ



2004年3月期における国内経済は、企業業績の改善や金融不安の解消などにより景気の先行きに対する行き過ぎた悲観論も修正され、日経平均株価は2003年3月末の7,972.72円から2004年3月末には11,715.39円と46.9%上昇するなど、円高の進行やテロに対する懸念は残りつつも景気回復への期待感が高まる状況となりました。リストラ費用や株式評価損などが重荷となって積極的な収益機会の追求に踏み出せなかった企業においては、経営

合理化の効果が徐々に表れはじめ、株価の回復とも相俟って前向きな事業展開へと転じる動きも広まりつつあります。

我が国の将来を担う企業の育成に取組んできた私どもソフトバンク・インベストメント(株)は、2003年6月イー・トレード(株)との合併により、総合金融グループへと変貌いたしました。さらに、2004年2月にファイナンス・オール(株)を傘下におさめたことで、「アセットマネジメント」「ブローカレッジ&インベストメントバンキング」「ファイナンシャル・サービス」をコアビジネスに据え、金融領域においてあらゆる機能を兼ね備えた事業ポートフォリオを有する企業集団へと更なる進化を遂げております。

アセットマネジメント事業においては、従来、投資の中心に置いていたIT分野に加えて、バイオや企業再生、そして、劇的な成長をとげる中国への投資をも視野に入れ、ファンド運営業務において内外の企業との提携を図りながら、グローバルな業務展開を指向してまいります。

ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業では、当期における証券市場の回復に伴い、当社グループの証券関連各社は、各社ともに好調な収益を収めました。引続き「顧客中心主義」に基づき、2004年3月期に実施したM&Aによりグループ

会社としたワールド日栄フロンティア証券(株)、フィデス証券(株)といった特色のある両社による対面での営業活動といった「リアル」部分と、イー・トレード証券(株)が基本とする「ネット」部分を融合させることで、あらゆる顧客層に幅広い商品・サービスを提供し、大手証券会社とも互角に競争できる業容の拡大に努めてまいります。

新たに加えたファイナンシャル・サービス事業は、様々な金融商品の比較・検索・提供を通じて安定的な収益を生み出す事を可能にし、さらに、金融イノベーターとして従来の金融業界にはないサービスと商品を提供してまいります。

ソフトバンク・インベストメント(株)は、常に進化し続ける企業グループであり、今後も企業拡大の可能性をグローバルに追い求めてまいります。

代表取締役 CEO

北尾 吉孝

